第３回

大阪府健康づくりアワード

受賞団体紹介

OSAKA-KANSAI JAPAN EXPO2025
World Expo 2025 Candidate

人材がなかなか集まらない
⇒アピールポイントはないか？

会社の経営資源は、「ヒト・モノ・カネ」
⇒あなたは自社の従業員の健康課題を把握していますか？

従業員の平均年齢が高齢化
⇒働き方改革に取り組むべきヒントはないか？

大阪府広報担当副知事
もずやん

会社に元気・活力が欲しい
⇒従業員が健康を意識するような仕掛けはないか？

“定年廃止”？
⇒従業員自ら決める定年まで働くことのできる環境とは？

ロコモって何？
⇒長生きを支える、足腰づくり、はじめませんか？

地域コミュニティ活性化
⇒『健康づくり』を題材にした内容は、いかが？

企業や地域で健康づくりの取組みが詰まった事例集

大阪府　全国健康保険協会 大阪支部 協会けんぽ　府民の健康づくり運動 健康おおさか21 推進府民会議

第３回大阪府健康づくりアワード　受賞団体紹介

第３回大阪府健康づくりアワード　受賞団体紹介 ・・・・ 1

大阪府健康づくりアワード　概要 ・・・・ 2

職場部門　取組概要 ・・・・ 3

【職場部門】 10団体

＜最優秀賞＞　株式会社 伏水 ・・・・ 7
（知事賞）

＜優秀賞＞　ヤマトヤ株式会社 本社工場 ・・・・ 9
（協会けんぽ大阪支部長賞）

＜特別賞＞　レビック株式会社 ・・・・ 10
（もずやん賞）

＜奨励賞＞　一般財団法人日本予防医学協会 西日本事業部 ・・・・ 11
〔五十音順〕　株式会社 中田製作所 ・・・・ 12
北浜グローバル経営株式会社 ・・・・ 13
社会福祉法人 なにわの里 ・・・・ 14
中日臨海バス株式会社 大阪堺支店 ・・・・ 15
中西金属工業株式会社（本社）・大阪中西金属株式会社・中西化工株式会社 ・・・・ 16
バンドー化学株式会社 南海工場 ・・・・ 17

地域部門　取組概要 ・・・・ 18

【地域部門】　6団体

＜最優秀賞＞　槇塚台ロコモ予防講座 ロコモ槇 ・・・・ 19
（知事賞）

＜優秀賞＞　八尾市久宝寺地区本町町会健康まちづくり活動 ・・・・ 20
（健康おおさか21推進府民会議会長賞）

＜特別賞＞　茨木市役所～適塩GOプロジェクト～ ・・・・ 21
（もずやん賞）

＜奨励賞＞　うきうきせっつ健歩会 ・・・・ 22
〔五十音順〕　堺市健康づくり食生活改善推進協議会 ・・・・ 23
阪急阪神ホールディングス株式会社 ・・・・ 24

これまでの受賞団体紹介 ・・・・ 25

大阪府健康づくりアワード 概要 ～健康づくりに取り組んで、健康寿命をのばそう～

共催／大阪府、全国健康保険協会（協会けんぽ）大阪支部、健康おおさか21推進府民会議
協賛／東京海上日動火災保険株式会社、大阪府中央卸売市場管理センター株式会社、大塚製薬株式会社
後援／経済産業省近畿経済産業局、一般社団法人大阪府医師会

・応募期間　平成29年9月5日（火）～11月２日（木）
・応募団体　職場部門29団体　地域部門15団体
・表 彰 式　平成30年2月21日（水）
・応募対象　職場や地域において、過去1年間に実施している"健康づくりに係る取組み"
　※以前から継続している取組み、イベント等1度限りの取組みでも可
・応募部門

[職場部門]	
◎対象	◇中小の事業場（医療・福祉・教育機関等を含む）において、職場単位（１つの部署等も可）で行う健康づくりの取組み
◎取組み例	**食生活** ●社食メニューの改善 ●保健師・管理栄養士等による指導 **運　動** ●階段利用・徒歩移動の推進 ●運動会 **禁　煙** ●禁煙プログラム導入 ●建物内禁煙 **メンタルヘルス** ●ストレスチェック活用 ●臨床心理士によるケア **歯と口** ●歯磨きタイム導入 ●洗面設備の設置 ●定期健診の推進 **健診・検診** ●特定健診の受診勧奨 ●職場での血圧測定 **健康教育** ●従業員向け健康教室・セミナーの開催 ●ポスター掲示 **治療と仕事の両立** ●病気(がん等)になっても働くことができる環境整備

[地域部門]	
◎対象	◇自治会、住民団体、自治体、企業（職場単位も可）等が行う地域住民等を対象とした健康づくりの取組み
◎取組み例	**食生活** ●食育イベント・料理教室の開催 ●健康応援レシピ作成 **運　動** ●健康保持を目的とした運動イベントの開催 **健診・検診** ●地域ぐるみでの健康診断(特定健診・がん検診)の受診促進 **健康教育** ●地域住民を対象とした健康セミナーの開催

※上記取組み例に限らず、特色のある活動内容を募集

・表彰内容

[職場部門]	大阪府知事賞[最優秀賞]、協会けんぽ大阪支部長賞[優秀賞]、もずやん賞[特別賞]、奨励賞
[地域部門]	大阪府知事賞[最優秀賞]、健康おおさか21推進府民会議会長賞[優秀賞]、もずやん賞[特別賞]、奨励賞

・主たる評価項目

[職場部門]	□ 社員のやる気・意欲を引き出す仕掛けづくりを行っている □ 創意工夫を凝らしている □ 経営者(管理者)のリーダーシップが明確である □ 他の企業でも取り組みやすい □ 社員への健康意識の啓発効果がある □ 活動の規模・状況等がわかる客観的なデータがある
[地域部門]	□ 健康無関心層の参加意欲を高める仕掛けづくりを行っている □ 創意工夫を凝らしている □ 他団体と連携、協力した取組みである □ 地域に定着した継続的な取組みである □ 府民への健康意識の啓発効果がある □ 活動の規模・状況等がわかる客観的なデータがある

職場部門　取組概要

賞名	企業名 (所在市町村) 業種	取組概要
最優秀賞 (知事賞)	株式会社 伏水 (大阪市港区) 梱包サービス	◆健康課題の分析・把握 ・健康保険組合と連携して事業所疾病分析・健診問診結果による事業所内の健康課題を把握 ◆禁煙・運動 ・事業所の健康課題から、禁煙と運動を中心とした取組みの実施 ・未利用スペースを活用し、運動や健康チェックができる環境を整備
優秀賞 (協会けんぽ大阪支部長賞)	ヤマトヤ株式会社 本社工場 (東大阪市) 段ボールおよび食品関連事業	◆定期健診 ・健康診断受診率100%、再検査対象者等へのフォローと食生活指導(保健師) ◆運動 ・転倒予防講習会、体組成測定の実施 ・腰痛予防等を目的としたラジオ体操講習会、チャリティーウォークへの参加 ◆事務所・工場建物内の完全禁煙 ◆メンタルヘルス対策 ・相談窓口(社内・社外)の設置、担当者の検定資格取得を推進 ◆健康教育等 ・インフルエンザ予防の取組み、インフルエンザ予防接種の実施(平成28年冬の感染者0人) ・熱中症予防講習会(平成29年の発症者0人) ・いざという時、家族や仲間を守るための普通救命講習会
特別賞 (もずやん賞)	レビック株式会社 (堺市堺区) 建築・設計・不動産業	◆定期健診・治療と仕事の両立 ・健康診断受診率100%、個人面談(社長と社員全員)による健康チェック100%、要診断者の受診率100%、糖尿病入院治療を行う従業員への療養休暇の付与 ◆運動 ・リフレッシュルームの設置 ◆歯と口の健康 ・携帯用電動歯ブラシの支給 ◆その他 ・健康経営宣言実施、働き方改革検定受験(社長)、柔軟な働き方の取組み

賞名	企業名 （所在市町村） 業種	取組概要
奨励賞	一般財団法人日本予防医学協会 西日本事業部 （大阪市北区） 産業保健総合サービス	◆定期健診 ・健康診断実施後の保健指導、重症化予防のための受診勧奨 ◆禁煙・受動喫煙防止 ・敷地内禁煙及び就業時間中の喫煙禁止、禁煙サポートチーム、禁煙啓発 ・行動変容のきっかけづくり ◆健康意識の醸成 ・健康経営宣言の理念方針の周知 ・「元気な職場づくり」に向けた、優秀なスローガンの表彰等 ◆健康課題の分析・把握と課題の優先順位付け ・健診結果集計分析により、健康課題を抽出し、短期目標・中期目標・長期目標の検討と取組み内容を決定 ◆運動 ・プラス10からはじめよう（1日10分プラスして歩く）等 ◆家族を含めた健康管理 ・被扶養者が健康診断・がん検診を受診しやすいようリーフレット配布等 ◆健康教育 ・ヘルスリテラシー向上のための健康セミナー
奨励賞	株式会社 中田製作所 （八尾市） アルミ精密部品の切削加工、超微細加工の技術開発	◆定期健診 ・健康診断受診率100％、インフルエンザ予防接種100％ ◆メンタルヘルス ・新入社員へのメンター制度（平成28年度新入社員の離職率0％） ◆禁煙・受動喫煙防止 ・建物内禁煙、営業車内での喫煙禁止、禁煙勧奨、禁煙手当 ◆その他 ・新入社員の親御さんの会社見学会、社長との交換日記（毎週木曜日）
奨励賞	北浜グローバル経営株式会社 （大阪市中央区） 経営コンサルティング業	◆定期健診 ・定期健診受診率100％ ◆健康教育・健康意識の醸成 ・長期計画の策定、参加型の健康講座、疲労・体力測定、アンケート調査による事業検証

賞名	企業名 (所在市町村) 業種	取組概要
奨励賞	社会福祉法人 なにわの里 (柏原市) 知的障がい児・者の支援施設	◆定期健診 ・健康診断受診率　平成28年度100% ・人間ドック受診率(35歳以上の常勤)平成28年度94% ◆運動 ・従業員のマラソン、フットサル、バンド活動等のインフォーマル活動への助成 ◆禁煙 ・建物内での完全禁煙 ◆健康教育 ・看護師・管理栄養士による健康に関するメール配信 ◆新制度の創設 ・近接地居住者の住宅手当の増額 ・人間ドック受診結果による健康祝い金
奨励賞	中日臨海バス株式会社 大阪堺支店 (堺市西区) 運輸	◆定期健診 ・すべてのバス乗務員に脳ドック、睡眠時無呼吸症候群スクリーニング検査、健康診断(年2回受診)等 ・全乗務員の出勤時に日々の健康測定(血圧・体重・体温・歩数等) ◆食生活 ・従業員の食生活、生活習慣の改善のため、管理栄養士を正社員雇用 ・事務所内で食物繊維を多く含む食材の販売をスタート ◆健康意識の醸成 ・健康診断の結果を元に、従業員ごとのヘルスケア通信を作成 ・管理栄養士による健康情報「健康かわら版」を掲示 ◆健康教育 ・管理栄養士によるバス乗務員、運行管理者向け健康に関する勉強会 ◆家族を含めた健康管理 ・従業員、ご家族に向けた「厚生課だより」を給与明細と一緒に配布 ◆運動 ・ウォーキング大会への参加
奨励賞	中西金属工業株式会社(本社) 大阪中西金属株式会社 中西化工株式会社 (大阪市北区 他) 製造業	◆定期健診 ・定期健診受診率100%、ストレスチェック100% ・産業保健スタッフによるフォロー面談 ◆健康意識の醸成 ・全従業員に対して、1か月チェックシートによるセルフチェックを行う「健康づくりキャンペーン」 ◆食生活 ・本社社員食堂でのヘルシーメニュー等の導入 ◆健康教育 ・産業保健スタッフより毎月健康に関する情報を社内掲示板に配信 ◆長時間労働削減の推進 ・柔軟な働き方による年間総労働時間の削減とワークライフバランスの充実 (平成28年総労働時間:前年比３%減)

賞名	企業名 （所在市町村） 業種	取組概要
奨励賞	バンドー化学株式会社 南海工場 （泉南市） ゴム加工品製造	◆定期健診 ・定期健康診断・特殊健診受診率100％ ・法定項目にプラスして胃がん・大腸がんの検診等を実施 ◆食生活 ・野菜摂取の増量のため社員食堂のメニュー改善 月2回の小鉢と選択式サラダバー試行実施、味噌汁等の汁物の野菜増量 ◆運動 ・運動会の実施（年１回）、健康増進アプリ（全社員）の活用 ・30年継続して、全従業員を対象にした「元気度チェック」により体力測定、体組成チェック等を実施 ◆禁煙 ・禁煙推進デー（毎月22日）、禁煙セミナーの開催、社内の全休憩所を完全分煙化 ◆メンタルヘルス ・ストレスチェック・SOCスケールの受診、EQ研修、残業時間の抑制 ◆歯と口の健康 ・事業所内にて歯科健診の実施、歯石除去及びブラッシング指導 ◆健康教育等 ・工場朝礼時の保健師による健康講話 ・インフルエンザ予防接種、健康セルフチェック

職場部門 ＜最優秀賞（知事賞）＞

株式会社 伏水

業務内容：梱包サービス
・港湾運送関連事業（輸入商品の流通段階において商品チェック（検査）、包装作業を主業務としています。）
・清涼飲料水製造業（クリクラ水の製造・販売）
従業員数：70人
所 在 地：大阪市港区石田２丁目2番33号
ＵＲＬ：http://www.fushimizu.co.jp/

代表取締役社長
今田 充彦 氏

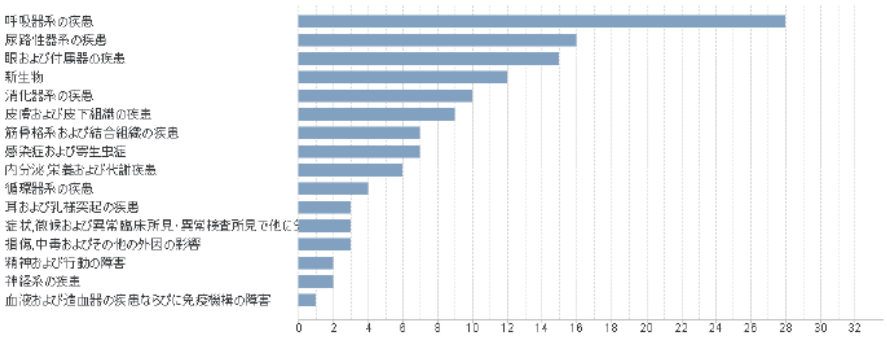
◆取組事例

ポイント1 健康保険組合と連携し、疾病分析・医療費分析を行い、取り組むべき健康課題を抽出

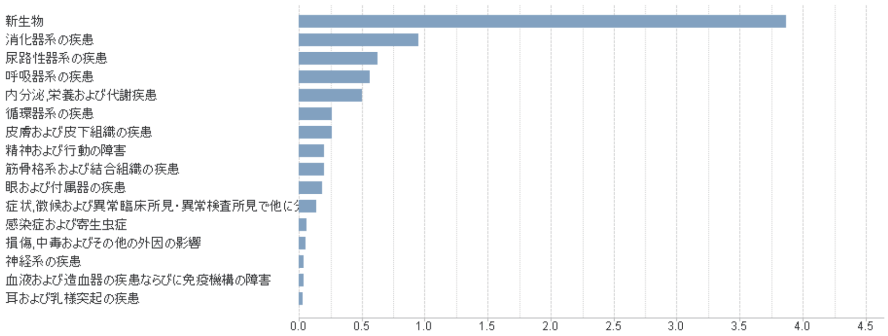
大阪港湾健康保険組合と連携し、事業所疾病分析を実施しました。また、健診問診結果から、運動、歩行、身体活動のない方が多くみられました。社員の高齢化も考え、運動する機会をサポートすることとしました。

【疾病分析】

◎疾病別罹患者数　※呼吸器系の罹患者が多い



◎疾病別医療費　※新生物（がん）で医療費が高額



ポイント2 禁煙ラリー・ウォーキングラリー実施

事業所疾病分析結果から、禁煙対策として「禁煙ラリー」を行うこととし、喫煙者には「禁煙・減煙」を、非喫煙者には「運動」への取り組みをサポートすることとしました。

禁煙ラリーシート

ウォーキングラリーシート

対　象　者：株式会社　伏水　組合加入者58人
方　　法：活動量計を携帯し歩数を計り、毎日ラリーシートに歩数を記入。
1週間の目標歩数が達成できたら達成シールを貼る。(シールは市販物、シートはWordで作成)
(目標)毎日、男性9,000歩、1週間で63,000歩
女性8,500歩、1週間で59,500歩
１ヶ月達成した方には、「健歩賞」としてJCBギフトカード1,000円を贈呈
さらにその後２ヶ月達成した方には、「完歩賞」としてJCBギフトカード2,000円を贈呈。
実 施 期 間：①平成29年5月8日(月)～5月31日(水)の1ヶ月
②平成29年6月1日(木)～7月31日(月)の2ヶ月　合計３ケ月
参加状況･結果：①健歩賞(目標達成者)11人
②完歩賞(目標達成者)６人
感　　想：階段を使うことや、少しでも歩くよう意識するようになった。
ラリー終了後も、歩く機会を積極的に作ろうとする意識が生まれた。

ポイント3　リフレッシュスペースの導入【運動対策】

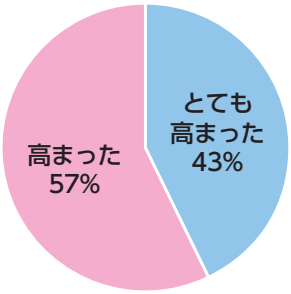
健診の問診票の回答から、運動、歩行、身体活動のない方が多く見られました。従業員の高齢化による疾病予防対策も兼ねて、本社ビル2階の未利用スペースを、軽い運動やストレッチができる空間に改修。また、毎日健康チェックできるよう、血圧計や体組成計も設置しました。

Before

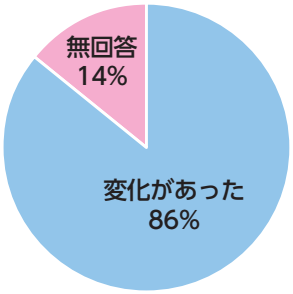
After

設置したもの:ルームランナー、ヨガマット、ヨガポール、体組成計、血圧計、
姿勢のゆがみがチェックできるミラー、歩幅チェック、ストレッチポイント
利用度アンケート結果:血圧計･体組成計90%･ゆがみチェック86%･歩幅チェック71%
(利用率)　ストレッチポイント70%･ルームランナー51%･ヨガマットポール40%

健康への意識の変化



生活での行動の変化



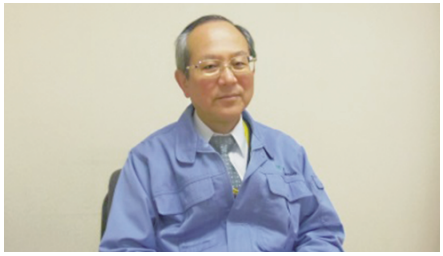
感　想:血圧をはかり毎日健康チェックするようになった。毎日の自分の体調を意識しながら運動ができる。
普段よりお酒を控えるようになった。できるだけ歩くよう意識するようになった。

職場部門 ＜優秀賞（協会けんぽ大阪支部長賞）＞

ヤマトヤ株式会社 本社工場

業務内容：段ボールおよび食品関連事業
従業員数：58人
所 在 地：東大阪市本庄中2丁目1番28号
Ｕ Ｒ Ｌ：http://www.yamatoya-int.co.jp/

ヤマトヤ株式会社



代表取締役社長 八木 和茂 氏

◆取組事例

ポイント1 製造現場での転倒防止（自社防衛）から転倒予防（行政との連携）へ

『病気にならない、ケガをしない体や仕組みをつくる』
予防に重点を置いた取組みを進めています。

【転倒予防（転ばないカラダを作る）】

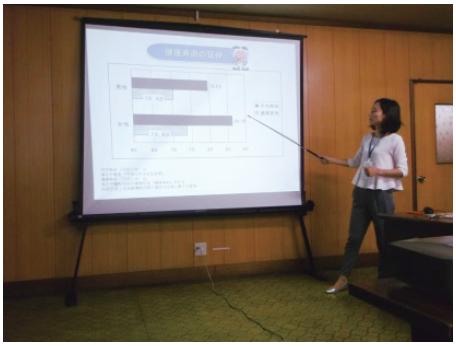
転ばない体を作るため、東大阪市保健所のご協力を得て、転ばないカラダをつくる講習会を実施しました。また、体組成計、足指力計測器で自分の体を知り、毎日のラジオ体操を正しく行うためにラジオ体操の指導を受けました。

【転倒防止】

＜現場での滑り止めテープ＞

＜体組成計、足指力計測器で「自分の体の弱点を知る」＞

＜講演：「転ばないカラダになる!!」＞



＜ラジオ体操の大切さの指導（1級ラジオ体操指導士）＞

職場部門 ＜特別賞（もずやん賞）＞

レビック株式会社

特別賞

業務内容：建築・設計・不動産業
従業員数：17人
所 在 地：堺市堺区向陵中町3丁4-24
Ｕ Ｒ Ｌ：http://www.rebuic.com/index.html

代表取締役 佐々木 博 氏

REALESTATE BUILDING CONSTRUCTION
REBUiC
レビック株式会社

◆取組事例

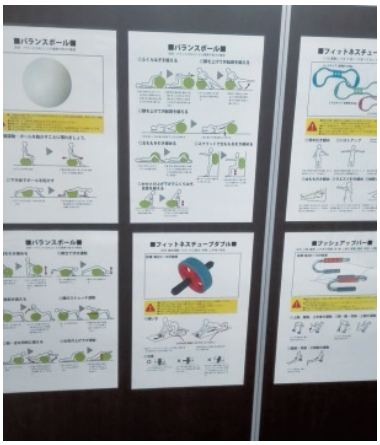
ポイント1 社員自らが決める定年まで健康に働くことができる環境づくりに向けて

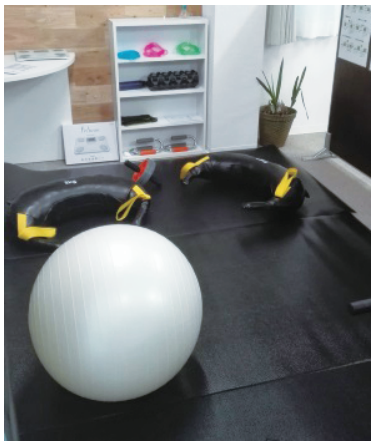
社員の平均年齢が40歳を超えたこと、働き方改革に取り組み「定年制廃止」を検討し始めたことにより、社員自らが決める定年まで健康に働くことができる環境づくりを目的としています。

まずは社員の意識を変えるため健康診断結果をもとに個人面談を行い、要診断者にはそれぞれの健康目標を立ててもらい進捗を確認。

また糖尿病になった社員には、セカンドオピニオンを勧奨し、2週間の療養休暇（糖尿病治療の入院）を実施。

是正処置とともに職場環境を整えることにより、健康に働くことができる環境づくりを進めていきます。





＜リフレッシュルームの設置＞

＜携帯用電動歯ブラシ等の支給＞

ポイント2 社長自ら健康づくりに取り組む姿勢を見せる

・平成29年10月1日　健康経営宣言
・社長も働き方改革検定試験を受験
・テレワーク・フレックス制導入により両立支援など個人事情にあわせた柔軟な働き方ができる仕組みを実施

【取組成果】
社員の「健康」や「長生き」への関心が高まりました。
また健康経営優良法人の認証取得に向けた活動開始（健康経営・えるぼし・くるみん・トモニン等）により、社員の働き方への関心が高まり、意見の言いやすい環境ができました。

職場部門 ＜奨励賞＞

一般財団法人日本予防医学協会 西日本事業部

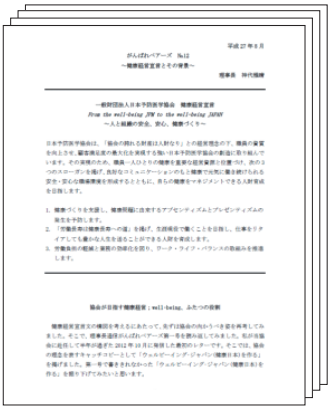
奨励賞

業務内容：産業保健総合サービス（健康診断事業、特定保健指導、ストレスチェック、産業医/保健師業務委託、啓発事業など）
従業員数：85人
所 在 地：大阪市北区西天満5-2-18
Ｕ Ｒ Ｌ：https://www.jpm1960.org/

◆取組事例

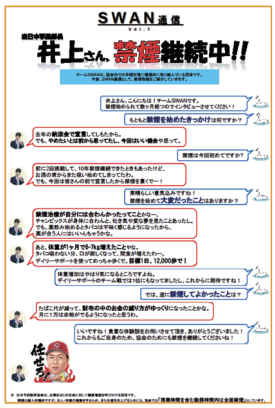
ポイント1 産業保健総合サービス機関としての知識を活かした健康経営推進と元気な職場づくり

法人としての取組みに加え、西日本事業部としての取組みも実施しています。



＜健康経営宣言＞

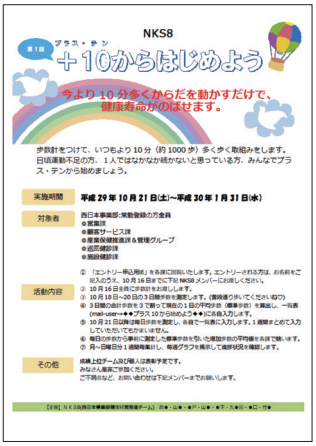
理事長の健康経営宣言を不定期で職員全員へ配信している「がんばれベアーズ」に掲載し、法人として目指すべき方向性を具体的に明示



＜禁煙モデリング＞

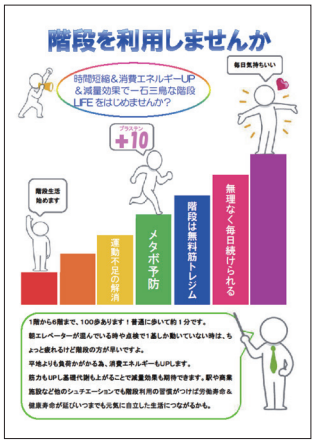
＜禁煙の取組み＞

工夫した禁煙啓発活動を実施
・喫煙率の低下（平成28年度10.9%）



＜プラス10からはじめよう ①案内＞

・職員全員に歩数計を配布し、毎日の歩数から事前に測定した標準歩数を引いた増加歩数の平均値を各課で競い、仲間と共に楽しみながら継続できるように工夫
・個人の歩数と各課の平均歩数を、月～日曜日分1週間毎集計し、毎週グラフを掲示して進捗状況を確認（平成29年度参加率99%）



＜プラス10
②階段利用の呼びかけポスター＞

＜プラス10 ③徒歩10分圏内のランチマップ＞

歩数を増加させるきっかけづくりに

職場部門 ＜奨励賞＞

株式会社 中田製作所

業務内容：アルミ精密部品の切削加工、超微細加工の技術開発
従業員数：32人
所 在 地：八尾市上尾町5丁目1-15
Ｕ Ｒ Ｌ：http://www.nakata-ss.co.jp/
技術情報：https://www.nc-net.or.jp/company/66404/

代表取締役 中田 寛 氏

◆取組事例

ポイント1 新入社員への丁寧なメンタルケア

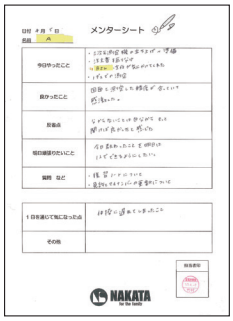
新入社員1名に対し、年の近い先輩社員がメンターとして付いてくれています。入社後３か月間を研修期間とし、仕事が終わる15分前から、メンターと1日の報告会を行います。その際には仕事のこと以外にも、一人暮らしの相談（安いスーパーはどこにありますか？美味しいご飯屋さんを教えて下さい！など新入社員ならではの不安）も聞いています。
また、研修期間は環境の変化や緊張から疲れやすい時期なので、毎日定時退社としています。

＜先輩（左）から後輩（右）へ測定数値入力の方法を教えています（製造管理課）＞

【実績】

平成28年度新入社員の離職０％を達成

メンター制度を導入したことで、年の近い先輩に相談できることで、わからないことをわからないままにすることがなくなりました。
また、新入社員から仕事以外の相談（一人暮らしの不安など）も受け、日常生活においての不安も取り除くことができました。

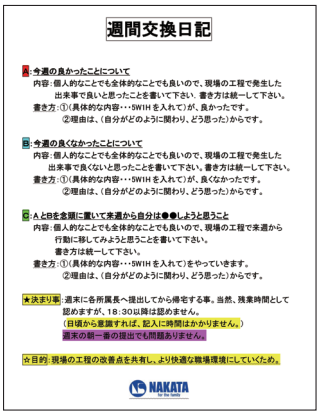


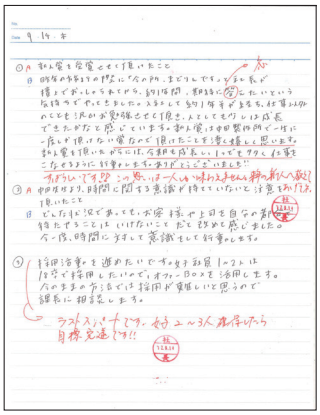
＜メンターシート＞

ポイント2 中小企業ならではのアットホームな取組み

≪社長とのコミュニケーション≫

社長と社員4～5人ずつの小単位での懇親会（1人あたり年に2回）を行っており、コミュニケーションを図っています。また、毎週木曜日に社長との交換日記（内容：A良かったこと、B：悪かったこと、C：来週からの目標記入）を行い、社長と本音で意見交換を行っています。





＜社長との交換日記＞

≪親御さん向け会社説明会≫

平成28年から毎年6月に、新入社員の親御さんに会社に来ていただき、会社説明と工場見学を行う”親御さんの会社見学会”を行っています。

【親御さんからの声】「先輩社員（メンターやリーダー）を紹介してもらえるので安心して子どもを任せられます！」「一緒に働く同期の子を知ることができ安心しました！」「会社を見学できてよかった」などご好評をいただいています。

＜親御さん向け会社説明会＞

職場部門 ＜奨励賞＞

北浜グローバル経営株式会社

業務内容：経営コンサルティング業
従業員数：13人
所 在 地：大阪市中央区高麗橋3-3-11
Ｕ Ｒ Ｌ：http://kitahamagm.com/company/

◆取組事例

ポイント1 計画的な健康増進プログラムの推進

少ない人的資源、資金を有効活用し、生産性を向上させるために、従業員の「健康維持・増進」は不可欠なものであると考え、従業員の「健康増進」に対する意識の向上を図るため、健康増進プログラムを実施し、健康に関する啓蒙活動を行っています。

＜専門家を講師に招いた参加型・体験型の健康増進セミナー＞

＜キックオフセミナー（平成28年9月）＞
健康増進に重要な3原則（食事・運動・睡眠）＋口腔ケアの重要性を学ぶ

＜運動セミナー（平成28年11月）＞

セミナーでは毎回アンケートを実施しています。自身の健康増進について考えている回答が多く、前向きに取り組みたいという意欲が向上してきたことがうかがえます。

＜生活習慣改善セミナー（平成29年9月）＞

＜5か年計画を立てて実施＞

健康増進プログラム　５ヵ年計画（概要）

健康の重要性を訴求し、自身の健康状態を自覚したうえで、各種プログラムを実施することで、継続して取り組めるプログラムとします。

- 1年目 学ぶ：測定とセミナーを実施し、**自身の健康状態を把握する**とともに健康の重要性を訴求する。
- 2年目 実践：１年目で学んだ内容を**個人で実践していく**とともに、健康意識の向上を行う。
- 3年目 自己評価：**生活習慣改善のステップアップを図る**とともに、4年目以降の実施に繋げる。
  - 中間評価：**1～2年目で実践した内容について振り返りと評価を行う**
- 4年目 発展：社内のコミュニケーションを活発にしていくとともに、**社員それぞれが健康増進（グループ・ダイナミクス）を実践**する。
- 5年目 継続：当プログラムが終了した後も継続して、**個人及び会社で健康増進が習慣となる**機運を醸成する。

健康増進プログラム　評価について

毎年１回（７月）に年度の振り返りを行う。その際の評価軸は、下記のとおり。

- アンケート実施：質問肢：運動の実施状況、睡眠時間などの生活習慣に関連
- 1年目 学ぶ：主に プログラム実施前のアンケートと実施後のアンケートで評価
  ※自身の健康状態を把握し健康の重要性を理解することを主な目的とする
- アンケート実施：病欠での欠勤日数
- 2年目 実践：1年目を実践的に継続してアンケート調査を行う
  ※健康への意識向上を主な目的とする。さらに中間評価に向け産業医の活用を検討する。
- アンケート実施：病欠での欠勤日数
- 3年目 自己評価：ストレスチェック、及び産業医の活用を行う。健康診断結果、及びストレスチェックによる評価を導入する。
  - アンケート実施：中間評価：ストレスチェック：産業医の活用：病欠での欠勤日数
- 4年目 発展：前年度に引き続き、健康診断結果、及びストレスチェックによる評価を行う。
  - アンケート実施：ストレスチェック：産業医の活用：病欠での欠勤日数
- 5年目 継続：継続的に実施するための課題をアンケート調査、健康診断結果、及びストレスチェックから分析を行い、健康増進に向けての従業員への訴求を行う。
  - アンケート実施：最終評価：ストレスチェック：産業医の活用：病欠での欠勤日数

職場部門 ＜奨励賞＞

社会福祉法人 なにわの里

業務内容：知的障がい児・者の支援施設（施設入所・成人通所・児童通所・相談支援等）
従業員数：49人
所 在 地：柏原市国分西1-3-43
Ｕ Ｒ Ｌ：http://www.naniwanosato.jp/top.html

◆取組事例

ポイント1 中小企業の機動性を活かして、新しい制度拡充を図る

中小企業の強みを生かし、取り組めそうな活動には、迅速に検討・実施しています。常勤職員だけでなく、非常勤職員へもできるだけ取組みの対象を広げています。

＜インフォーマル活動への助成＞

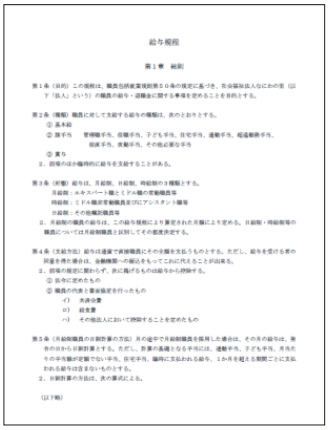
従業員同士のインフォーマルな趣味・交流などの活動に対して助成し、心身の健康増進を図る。
（常勤１人を含む3人以上の参加者。平成29年度助成実績：マラソン、フットサル、バンド活動等）

＜近接地居住地への住宅手当の増額＞

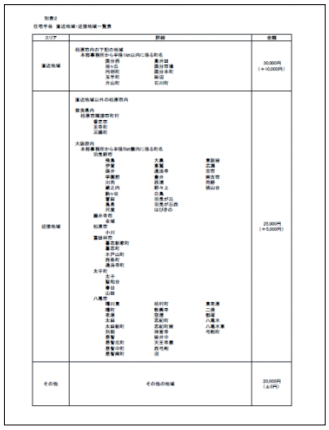
平成29年4月～従業員（常勤）の通勤ストレス軽減を制度面からサポートし、健康リスク低減を図る。
（実績：17人（対象：37人）に実施）

＜健康祝い金の支給＞

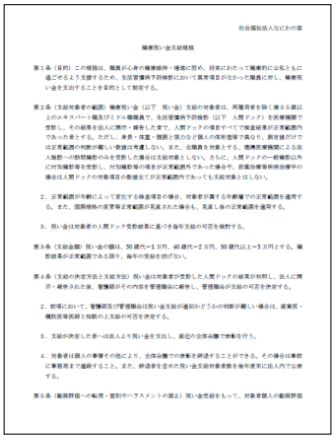
人間ドックの一般検査項目すべてが正常数値内であった場合、祝い金を支給し、従業員の健康維持・意識向上を図る。


給与規程

第１章 総則



＜近接地居住地への住宅手当の増額＞



＜健康祝い金の支給＞

職場部門 ＜奨励賞＞

中日臨海バス株式会社 大阪堺支店

業務内容：運輸　企業様の従業員通勤バス、観光バス、幼稚園バス、
　　病院送迎バス、葬儀バス
従業員数：92人
所 在 地：堺市西区浜寺石津町西3丁7番地30号
Ｕ Ｒ Ｌ：http://www.crb.co.jp/company/

◆取組事例

ポイント1 乗務員の健康管理「日本一」を目指す

平成26年度からすべてのバス乗務員に脳ドック、睡眠時無呼吸症候群スクリーニング検査を実施しています。
また、深夜業務以外の方は、年1回の健康診断が法令で定められていますが、当社は全乗務員に年2回健康診断を受けてもらっています。健康管理の豊富なデータを駆使して、生活習慣病リスクが全体的に低下しています。

＜脳ドック検査、睡眠時無呼吸症候群スクリーニング検査＞

ポイント2 管理栄養士による健康管理の一元化

将来的な生活習慣病予防のため、管理栄養士を雇用し、栄養のプロからアドバイスをしてもらうことにしました。契約している産業医とも連携し活動しています。

＜管理栄養士との面談＞

＜ヘルスケア通信＞

健康診断結果をもとに、従業員ごとに、健康状態を評価し、取組み目標を設定

＜健康に関する勉強会＞

＜厚生課だより＞

社員の健康管理に家族の協力は不可欠との観点から、従業員、ご家族に向けた「厚生課だより」を給与明細と一緒に配布

＜食生活改善＞

食物繊維を多くとってもらうため、食物繊維を多く含む食材を会社で購入し、店頭価格半額～3割引き程度で従業員へ販売

職場部門 ＜奨励賞＞

中西金属工業株式会社（本社）・大阪中西金属株式会社・中西化工株式会社

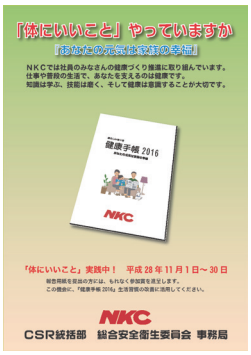
奨励賞

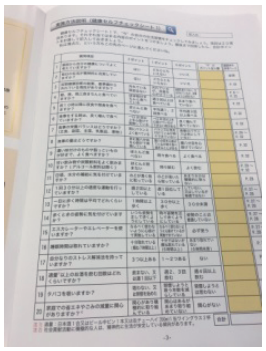
業務内容：ベアリング・リテーナー・コンベア及び自動制御装置
・サッシ用戸車・住宅関連製品・ゴムシール・精密金型
・無人搬送車(AGV)・金属プレス加工品・冷間圧延鋼板等の製造販売
従業員数：3事業所合計　850人
本社所在地：大阪市北区天満橋3-3-5
ＵＲＬ：http://www.nkc-j.co.jp/

◆取組事例

ポイント1　全従業員への健康づくりキャンペーン

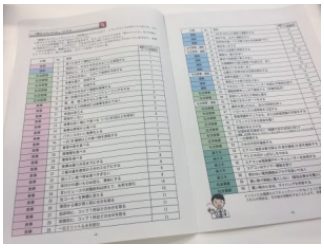
従業員の健康関心度の向上のため、全従業員（パート含む）に対して、健康手帳によるセルフチェックを実施しています。1カ月間チェックシートにより日々自身の健康と向き合うことで健康への関心を持ってもらうものです。
（平成28年度より開始、参加率53.7％）

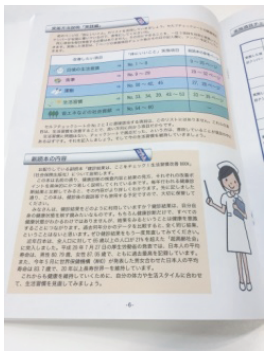




＜健康手帳＞

チェックシートは食事、運動、生活習慣等に関する項目





＜生活習慣改善BOOK＞

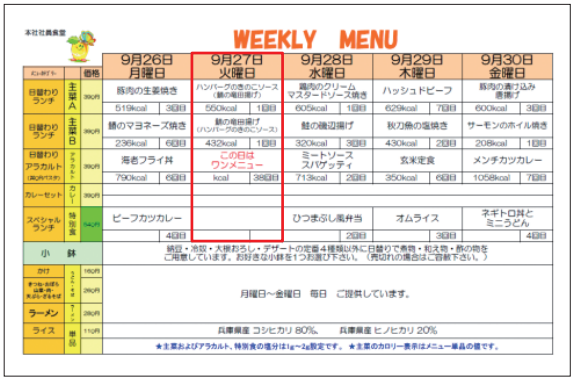
自分の生活習慣を確認できるよう副読本「生活習慣改善BOOK」を作成・配布

ポイント2　本社社員食堂ヘルシーメニューの導入

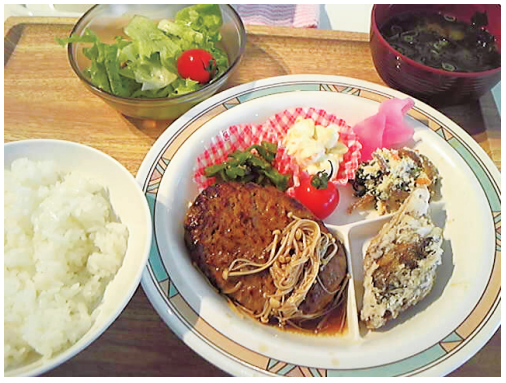
食堂利用者の健康的な食生活を推進するため、中西金属工業本社社員食堂利用者（本社構内勤務者）に対して、ヘルシーメニューを導入しました。
＜内容＞
・ワンメニュー：肉、魚、野菜等の栄養
（毎週1回）　　バランスを考慮したメニュー
・ダイエットメニュー：１食600kcal未満ながら
（月2回）　　満腹感のあるメニュー

（導入にあたって）

食堂利用社員にアンケートを実施した結果、「好きなものを選んで食べたい」等の理由で多数の反対意見がありました。その意見を給食改善委員会で検討しましたが、給食提供責任者としては、現在の健康状態だけでなく、リタイア後の健康も考慮すれば、「よりバランスの取れた健康食」を提供する義務があるとの考えから、多くの利用者に啓蒙する意味でもワンメニューを実施することとなりました。



＜週間メニュー＞

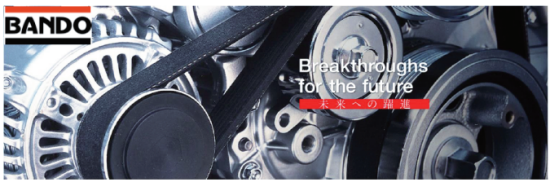


＜ワンメニュー＞

職場部門 ＜奨励賞＞

バンドー化学株式会社 南海工場

業務内容：ゴム加工品製造
従業員数：683人
所 在 地：泉南市男里5丁目20番1号
Ｕ Ｒ Ｌ：http://www.bandogrp.com/corporate/global/jp_detail/nankai.html



◆取組事例

ポイント1 ものづくり製造工場での多岐にわたる健康づくりの取組み

○食生活

＜野菜摂取の増量＞

社員食堂のメニュー改善として、汁物の野菜を増加させて、おいしく栄養のあるメニューへ
（対策前：野菜量平均5g→対策後：野菜量平均20ｇ）

○歯と口の健康

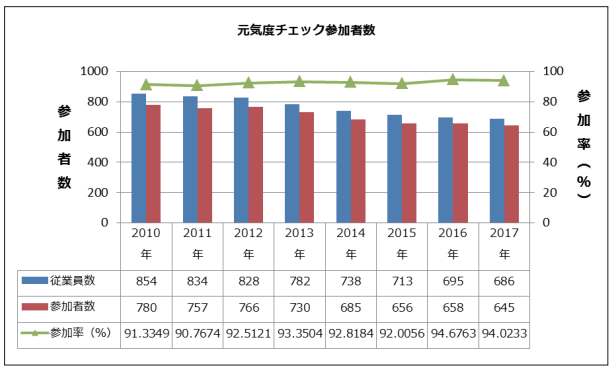
＜歯科健診の実施＞

事業所内にて歯科健診、歯科医師による診察・歯科衛生士による歯石除去及びブラッシング指導を行っています。（平成29年　受診率20%）

○運動

＜元気度チェック（1回/年）＞

30年継続して全従業員を対象にした体力測定
（体力測定、体組成チェック、血液サラサラチェック、脳年齢チェック）
（参加率94%（平成29年度））



	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
従業員数	854	834	828	782	738	713	695	686
参加者数	780	757	766	730	685	656	658	645
参加率（%）	91.3349	90.7674	92.5121	93.3504	92.8184	92.0056	94.6763	94.0233

＜元気度チェック参加者数＞

○禁煙

＜毎月22日は、禁煙推進デー＞

産業医による禁煙セミナー・健康トレーナーによる禁煙セミナーや社内の全休憩所を完全分煙化（平成27年～）しました。

地域部門　取組概要

賞名	団体名 (所在市町村)	取組分野	活動内容
最優秀賞 (知事賞)	槇塚台ロコモ予防講座 ロコモ槇 (堺市南区)	・運動 ・健康教育 ・食生活 ・その他(社会参画)	堺市南区槇塚台の地域住民が、いつまでも元気に地域で暮らすため自ら立ち上げた、健康寿命延伸に向けた運動と栄養の講座
優秀賞 (健康おおさか21推進府民会議会長賞)	八尾市久宝寺地区本町町会健康まちづくり活動 (八尾市)	・運動 ・健康教育 ・その他(まちづくり)	河内音頭健康体操等による地域健康まちづくり
特別賞 (もずやん賞)	茨木市役所 ～適塩GOプロジェクト～ (茨木市)	・食生活 ・健康教育	市民が適塩に取り組めるよう、「～適塩GOプロジェクト～カラダがよろこぶ適塩生活」を産官学連携で実施し、適塩についての周知・啓発活動を行う
奨励賞	うきうきせっつ健歩会 (摂津市)	・運動	市と市民団体が協働で、ウォーキングコースの設定、ウォーキングイベントを実施し、市民の健康づくりの機会を提供する
奨励賞	堺市健康づくり食生活改善推進協議会 (堺市)	・食生活	地域に根ざした健康づくり、食生活改善、食育に関する普及啓発活動を行う
奨励賞	阪急阪神ホールディングス株式会社 (大阪市北区)	・食生活 ・運動 ・メンタルヘルス ・歯と口 ・健康教育	阪急阪神沿線の健康づくりに役立つ情報を集めた健康情報誌「Well TOKK」(ウェルトック)を年4回発行し、駅等で無料配布

地域部門 ＜最優秀賞（知事賞）＞

槇塚台ロコモ予防講座 ロコモ槇

活動内容：堺市南区槇塚台の地域住民が、いつまでも元気に地域で暮らすため自ら立ち上げた、健康寿命延伸に向けた運動と栄養の講座

(注) ロコモ…ロコモティブシンドローム。骨、関節、筋肉などに支障をきたし、立つ、歩くといった移動機能が低下した状態

概　　要：**住み慣れた地域で暮らし、要介護にならないよう、日々の運動と食生活で健康寿命を延伸する。**
高齢化率29.6％（平成26年3月末）の堺市南4区の槇塚台校区自治連合会と大阪市立大学大学院生活科学研究科栄養教育研究室によるヘルスリーダー養成をきっかけに、地域住民がセルフケアによる身体活動能力維持を目標に企画・提案した“ロコモ予防講座（運動・食生活管理）”。活動は、身体活動活性化と親睦の機会となり、参加者の体調改善へとつながり、楽しい“高齢者による高齢者のための健康づくり”活動となっています。

◆取組事例

ポイント1　運動と食生活を主題としたロコモ予防講座

前・後期高齢者住民のロコモティブシンドローム予防にむけ、理学療法士や行政の介護予防プログラムなどの運動講座と自主トレーニングを月2回、管理栄養士による食講座（ミニ講話・調理・試食）を年2-3回行う。毎月第2、第4木曜日1時間30分開催、各回出席者約30人。

＜理学療法士による運動指導＞

＜げんきあっぷプログラムによる運動指導＞

＜管理栄養士による栄養の講話＞

理学療法士や管理栄養士による指導などによる運動と栄養のセルフケア実行に向けて、参加者による自習活動を取り入れた講座

（平成29年度講師）
・大阪市立大学大学院生活科学研究科 食・健康科学講座 特任教授　春木 敏（管理栄養士）
・大阪経済大学人間科学部スポーツ健康コース 教授　髙井 逸史（理学療法士）
・NPO法人はみんぐ南河内 副理事長　時岡 奈穂子（管理栄養士）
・堺市「地域出前型げんきあっぷ教室」堺市派遣の運動指導員
・堺市立健康福祉プラザスポーツセンター指定管理者 公益財団法人フィットネス21事業団指導員

☆ロコモ槇は、自治連合会役員の理解・合意のもとに校区福祉委員会の事業として平成26年度より開始し、平成29年4月から第４期講座を運営しています。地域高齢者自らが中心となり、行政や専門家、有識者の支援を受けつつ、地域包括ケアシステムに参画するという、地域住民による健康づくりの取組みです。

地域部門 ＜優秀賞（健康おおさか21推進府民会議会長賞）＞

八尾市久宝寺地区本町町会健康まちづくり活動

優秀賞

活動内容：河内音頭健康体操等による地域健康まちづくり
所 在 地：八尾市東久宝寺
概　　要：八尾市久宝寺地区の本町町会が主体で、いつまでも健康で、つながりをもって、地域に住み続けられるよう、「いきいき体操教室」として健康体操を活用した健康まちづくりに取り組んでいます

◆取組事例

ポイント1 「河内音頭健康体操」を活用した体力づくり

地域住民に非常に親しみやすくて、自然と身体も動くといわれる河内音頭を使用した河内音頭健康体操に取り組んでいます。現在では、本町にある3つの町会の連合体で、65歳以上の高齢者40人が登録し、毎回平均約20人（平成29年4月から9月実績）が参加しています。（月3回、約1時間）

＜準備運動＞

＜河内音頭健康体操＞

＜筋力強化トレーニング＞

＜取組みの工夫＞

体操の内容は、参加者が取り組みやすいように椅子に座って行うことができるものとし、準備体操を丁寧に行うようにしています。参加者は高齢のため安全に行うことを第一に考え、筋肉をほぐすことで怪我の予防にも努めています。

＜体力測定＞

（取組効果）
・参加者全体の平均体力が向上
※教室の立ち上げ時と1年後の体力測定比較
（八尾市高齢介護課による継続参加者で測定結果があるもの16人分の体力測定結果）
・参加者自身も、日常生活の中で、足元が安定した等を実感しています。

ポイント2 健康づくり活動から地域コミュニティを活性化

体操終了後には、参加者みんなで歌ったり、月に１回は、災害や健康教育等、様々な出前講座を実施し、健康だけでなく生涯学習にも取り組んでいます。いきいき体操教室の立ち上げ当初は、体操が終わり次第すぐに解散していましたが、徐々にコミュニケーションが活性化し、つながりが深まり、もっとこんなことがしたいという声も上がり、地域の力が育つ中で、新たな地域活動が始まりました。

☆平成29年9月9日八尾河内音頭まつりにおいて、最多人数で一斉に踊る盆踊りで2,872人というギネス世界記録を更新。メンバーには、ギネス世界一にチャレンジした方もいます。

＜防災ずきんを制作・配布＞

地域部門 ＜特別賞（もずやん賞）＞

茨木市役所 ～適塩GOプロジェクト～

特別賞

活動内容：地域や企業、大学等と連携し、健康づくりイベント等を開催し、市民が適塩に取り組めるよう適塩について、周知・啓発活動を行う
所 在 地：茨木市春日三丁目13番5号
（茨木市保健医療センター内）
ＵＲＬ：http://www.city.ibaraki.osaka.jp/kurashi/kenko/36609.html

◆取組事例

ポイント1 多くの団体と協働し、無関心層へアプローチ

子どもから高齢者まで、あらゆる年齢層（市民全体）をターゲットにし、「適塩」をテーマとして、地域に根ざした形で具体的にアプローチすることで、市民の方が自分自身の問題として自ら「適塩」に取り組めるよう行動変容を促進します。

＜なぜ今、適塩GOプロジェクトなのか＞

茨木市国民健康保険事業実施計画（データヘルス計画）において、生活習慣病の中で、脳血管疾患群の医療費・患者数ともに多いことが茨木市の課題として挙げられました。そのため、脳血管疾患群の基礎疾患となる高血圧症に着目し、広く市民の方にアプローチしながら、市民の方が適量な塩分摂取（適塩）に取り組めるよう、適塩の推進を図ることとしました。

＜適塩ＧＯプロジェクトの目標＞

① 1日の塩分摂取目標量（男性８ｇ未満、女性７ｇ未満）を正しく知っている市民が増加。
② 適塩に取り組む市民が増加。（特に食品栄養成分表示を見る市民の増加）
③ 野菜を積極的に摂取する市民が増加。

産×官×学　協働イベント開催

大学でのイベント

市内スーパーでのイベント

イベントでの血圧測定や食事バランス診断、適塩についての知識の普及を行っています。
参加者数約3,000人（平成30年1月末現在）

地域部門 ＜奨励賞＞

うきうきせっつ健歩会

奨励賞

活動内容：市と市民団体が協働で、ウォーキングコースの設定、ウォーキングイベントを実施し、市民の健康づくりの機会を提供する
所 在 地：摂津市三島１－１－１
U　R　L：http://www.city.settsu.osaka.jp/
(注) うきうきせっつ健歩会…摂津市が募集した『ウォーキング推進リーダー養成講座』の受講生の有志で結成

◆取組事例

ポイント1　新しいウォーキングコースを設定しながら、市民の健康づくりを応援

平成25年度から1年に1コースずつ新コースを設定し、平成27年度からウォーキングイベントを開催しています。
マンネリ化しないよう、ショートコース、逆回りコース、サプライズ企画など、参加者が楽しく意欲的に参加できるよう工夫しています。
(実施日:毎月第1月曜(1月・8月除く))

＜ウォーキングコースマップ＞

・コース：うきうき歴史街道　別府・一津屋コース
うきうき街道川と花　新在家・鳥飼コース
うきうき夢街道　千里丘・健都コース
うきうき離宮の里　鳥飼東コース
他４コースあり

【実績】
・実施回数：24回(平成27年4月～平成29年12月)
雨天中止3回
・参加者累計：2,245人(1回あたり107人)
・参加年齢比率：60歳代：38%、70歳代：48%
60歳未満：8%、80歳以上：6%
・参加男女比率：男：37%、女：63%
・リーダースキルアップ講座(平成26年～平成29年実施)

＜旧一津屋公会堂＞

＜大正川沿い＞

参加者ファーストでより魅力あるウォーキングにする為の創意工夫(ウォーキング+αの魅力作り)

(1)早い・普通・のんびりの3グループ化…自分の体力に合った自分のペースでウォーキングを楽しんでもらいたい
(2)更に各グループを2グループに分けて小グループ化…信号等が1回で渡れよりスムースに歩ける、また全員に気配り出来る
(3)ショートコース作成…「標準コースが長すぎて歩けないわ」という人にもぜひウォーキングを楽しんでもらいたい
(4)私達だけでコース作成…いろんな所を歩いてほしい
(5)ふるさとせっつ案内人の会とのコラボ…史跡説明を楽しんでもらう
(6)本日のサプライズ(楽しいやないか一弾)…最高齢の参加者を拍手で祝福等、毎回違うサプライズ提供
(7)花見deウォーク(楽しいやないか二弾)…桜の名所をゴールにし、お弁当食べながら皆で花見を楽しむ

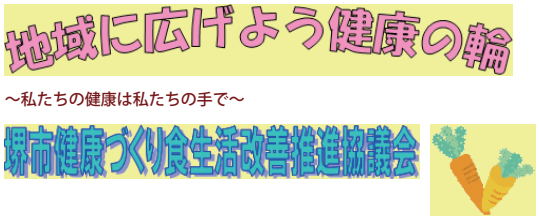
＜新幹線公園＞

☆摂津市では、平成25年度より、新たなウォーキングコースの設定、健康器具を設置し、まちごとフィットネス化を目的に「まちごとフィットネス！ヘルシータウンせっつ事業」を開始しています。

地域部門 ＜奨励賞＞

堺市健康づくり食生活改善推進協議会

活動内容：地域における健康づくり、食生活改善、食育に関する普及啓発活動を行う
所 在 地：堺市堺区南瓦町３－１堺市健康医療推進課内
ＵＲＬ：http://www.city.sakai.lg.jp/kenko/kenko/kenkozukuri/shinkenkosakai21/eiyo/shokkai/index.html



◆取組事例

ポイント1 あらゆる世代を対象とした地域に根ざした取組み

「私たちの健康は私たちの手で」を合言葉に、地域住民自らが健康づくりを実践し、実践者として健康づくりを地域に広げるボランティア活動を行っています。
また、堺市7区それぞれに支部を結成し、地域に根差した健康づくり、食生活改善、食育に関する普及啓発活動を行います。
対象は赤ちゃんから高齢者まですべての市民を対象にライフステージに合わせた啓発活動を行っています。
各世代対象に調理実習を伴う講習会として親子料理、男性料理、生活習慣病予防、骨粗しょう症予防、介護予防等の教室を多数実施しています。

＜親子クッキング＞

＜保育園へ食育出前講座＞

【実績】
取組み開始：平成元年7月から
【平成28年度】
・3歳児健診食育啓発　7支部合計14,242人
・伝達料理（男性料理教室含む）7支部合計754人
・親子クッキング　7支部合計861人
・出前講座　7支部合計850人　等
⇒平成28年度の延べ啓発者数　31,441人

＜男性料理教室＞

☆3歳児健診での食育啓発や地域への出前講座では、会員がアイデアを出し合って作成した手づくり媒体を使って、楽しく食育の啓発を行っています。

☆赤ちゃんからおとしよりまで、地域に健康づくり食生活改善の輪を広げるお手伝いをしています。

地域部門 ＜奨励賞＞

阪急阪神ホールディングス株式会社

業務内容：大阪・神戸・京都を鉄道で結ぶと共に、商業施設やオフィスビル、阪神タイガースや宝塚歌劇、旅行、ホテルなど多岐にわたる分野で豊かなライフスタイルを提案し、沿線地域に貢献しています
所 在 地：大阪市北区芝田一丁目16番１号
Ｕ Ｒ Ｌ：http://www.hankyu-hanshin.co.jp/

◆取組事例

ポイント1 親しみやすい記事で健康づくりをお手伝い

阪急阪神沿線の健康づくりに役立つ情報を集めた健康情報誌「Well TOKK」（ウェルトック）を年4回発行し、駅等で無料配布

＜健康情報誌「Well TOKK」＞

【目的】

①正しい健康・医療情報の紹介
②楽しく実践・継続できる疾病予防や健康づくりメニューの紹介

【主な内容】

・健康おでかけ情報　・疾病予防や健康づくりについて解説するコラム
・阪急阪神沿線でできるスポーツに読者モデルが挑戦する連載コーナー
・旬の食材とレシピ紹介　・宝塚歌劇団OGによるストレッチ講座
・自治体等の健康イベント紹介
・阪急阪神沿線を活動拠点とするアスリートへのインタビュー　等

＜旬の食材とレシピ紹介＞

＜疾病予防や健康づくりについて解説するコラム＞

【形　　式】A4判　オールカラー　24ページ
【配布場所】阪急電鉄・阪神電鉄・能勢電鉄の駅、阪急沿線・阪神沿線のスポーツ施設、医療機関、スーパー、銀行等
※健康づくり応援サイト「阪急阪神沿線Wellnessプラス」で、よりタイムリーな情報も提供。
https://healthcare.hankyu-hanshin.co.jp/

＜宝塚歌劇団OGによるストレッチ講座＞

（読者感想）

読者からは「ストレスを乗り切るヒントをもらえた」「ストレッチのページを冷蔵庫に貼って実践している」等、本誌を日常生活に役立てていることが窺える感想が多数寄せられている。

☆阪急阪神ホールディングスグループは「健康寿命の延びる沿線」実現を目指しています。

これまでの受賞団体紹介

◆第１回大阪府健康づくりアワード受賞団体

応募団体　職場部門 10 団体　地域部門 37 団体
受賞団体　職場部門　４団体　地域部門　５団体

	職場部門	地域部門
最優秀賞	―	「大阪発、公園からの健康づくり」推進グループ
優秀賞	京セラドキュメントソリューションズ㈱	いずみさのみんなの健康づくり応援団
特別賞	社会福祉法人 大阪府家内労働センター連合授産場	日本最低山縦走大会実行委員会
奨励賞	池島運輸㈱	劇団くりーん
	㈱興陽造園	大阪いずみ市民生活協同組合

◆第２回大阪府健康づくりアワード受賞団体

応募団体　職場部門 16 団体　地域部門 20 団体
受賞団体　職場部門　８団体　地域部門　８団体

	職場部門	地域部門
最優秀賞	㈱関西都市居住サービス	健康トライ21市民連絡会
優秀賞	社会医療法人 ペガサス	いばらきMIRAIカフェ
特別賞	大豆ギャラリー河内庵 ㈲三好商店	泉佐野市食生活改善推進協議会
奨励賞	社会福祉法人さつき保育園	いきいき健友会
	三洋電機㈱二次電池事業部貝塚工場	一般社団法人 茨木市医師会
	トヨタカローラ南海㈱	㈱関西都市居住サービス エコール・いずみ営業所
	㈱瓢月堂	関西福祉科学大学
	㈱間口	堺市南区健康づくり推進委員会

◆大阪府健康づくりアワード表彰式

第1回（平成28年2月23日）

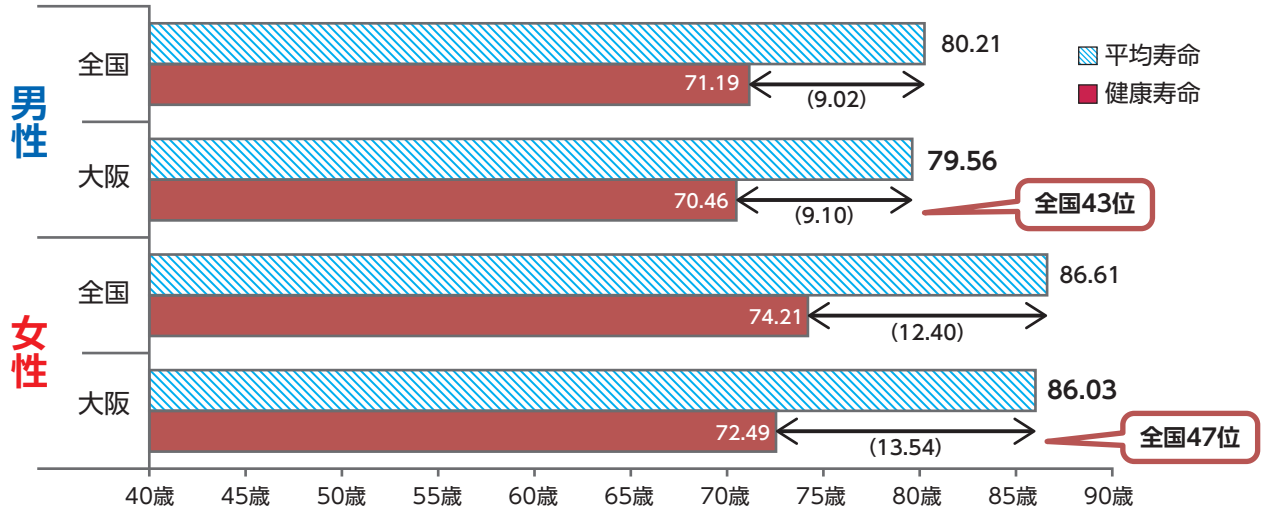
第2回（平成29年2月22日）

基礎知識：大阪府の健康指標

◆大阪府の健康寿命

・大阪府の「健康寿命」は、男性70歳・女性72歳です。
・男女ともに全国を下回り、低位にある状況です。

大阪府・全国の健康寿命（平成25年）



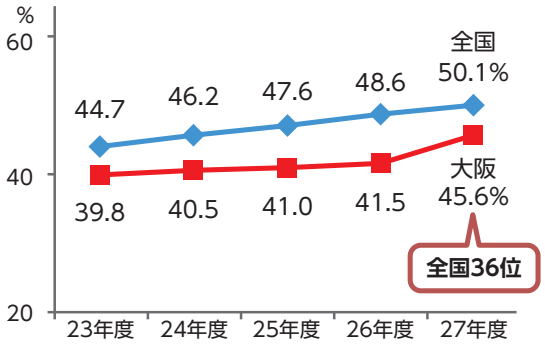
出典：厚生労働科学研究報告書

☑ 健康寿命とは：健康な状態で生存する期間をいいます。国民生活基礎調査のデータを用い、「健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか」に「ある」と回答した人を「不健康」、「ない」と回答した人を「健康」として算出したものを利用し、3年毎に公表されます。

◆大阪府の特定健診受診率・保健指導実施率

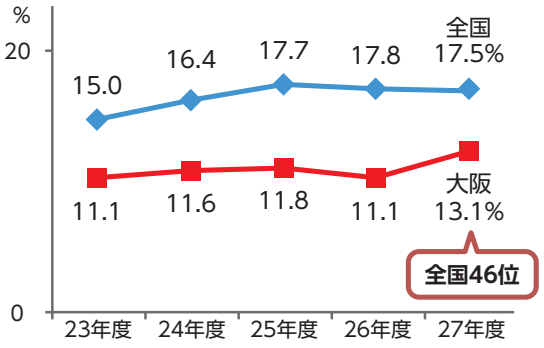
・特定健診受診率は、年々向上していますが、全国を下回っています。

特定健康診査の受診率の推移（大阪府・全国）



出典：特定健康診査・特定保健指導の実施状況

特定保健指導の実施率の推移（大阪府・全国）



出典：特定健康診査・特定保健指導の実施状況

☑ 特定健康診査とは：生活習慣病の予防のため、40歳から74歳までの被保険者を対象に医療保険者が実施する健診です。メタボリックシンドロームの該当者や予備群を特定します。

☑ 特定保健指導とは：特定健診の結果、生活習慣病の予防が期待できる方に対して、医療保険者の管理栄養士・保健師等が実施する保健指導です。食事の工夫、運動の勧奨、禁煙指導など、生活習慣を見直す助言をします。

第3回大阪府健康づくりアワード　受賞団体紹介
平成30年（2018年）2月発行

大阪府健康医療部　保健医療室　健康づくり課
〒540-8570　大阪市中央区大手前二丁目
TEL 06(6944)6029　/ FAX　06(6944)7262
ホームページ　http://www.pref.osaka.lg.jp/kenkozukuri/award/